

虐待を疾患ととらえて 鑑別するためのTips集



丸山大地（福岡大学筑紫病院小児科）

本コンテンツはハイブリッド版です。PDFだけでなくスマホ等でも読みやすいHTML版も併せてご利用いただけます。

▶ HTML版のご利用に当たっては、PDFデータダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要です。

▶ シリアルナンバー付きのメールはご購入から3営業日以内にお送り致します。

▶ 弊社サイトでの無料会員登録後、シリアルナンバーを入力することでHTML版をご利用いただけます。登録手続きの詳細は <https://www.jmedj.co.jp/page/resistration01/> をご参照ください。

▶ 登録手続

summary	p2
1. 子ども虐待の定義	p3
2. 日本の子ども虐待の現状	p4
3. 虐待がもたらす影響と背景	p8
4. 子ども虐待を疑う	p11
5. 子ども虐待の重症度評価	p14
6. 関係機関につなぐ	p16
7. 事例検討	p17
8. さいごに	p20

▶ 販売サイトはこちら

日本医事新報社では、Webオリジナルコンテンツを制作・販売しています。

▶ Webコンテンツ一覧

summary

1 子ども虐待の定義

- ・子ども虐待は「身体的虐待」「性的虐待」「精神的虐待」「ネグレクト」の4つに分類されているが、分類することが目的ではない。

2 日本の子ども虐待の現状

- ・年間約30万件以上も虐待で苦しむ子どもたちが報告されている。
- ・虐待死事例においては、半数以上で関係機関(児童相談所, 市町村)が虐待と把握できないまま死に至っている。

3 虐待がもたらす影響と背景

- ・虐待には長期にわたり, 身体的・心理的に重篤な影響がある。
- ・虐待の背景は本人, 保護者, 周囲の環境の3つにわけてとらえる。

4 子ども虐待を疑う

- ・子ども虐待の受傷部位は, 顔, 首, 耳, 頭, 体幹, 臀部, 腕に多く, 特に被覆部位に注意が必要である。

5 子ども虐待の重症度評価

- ・重症度指標を用いる。
- ・重症度指標は, 医療従事者と行政機関が介入の緊急性に関して共通の認識をもつために重要である。

6 関係機関につなぐ

- ・重症度評価, 子どもの安全確保の有無, 医学的適応, 保護者の同意などを参考に, 適切な関係機関へつなぐ。

- ・医学的適応については、各地域の虐待対応拠点病院に設置されたchild protection team (CPT) に相談するとよい。

7 事例検討

- ・いくつかの具体例 (架空の症例) を提示する。

8 さいごに

- ・診療所，病院，医師，看護師といった多角的な視点で子ども虐待をみることで，見落とし (死角) が少なくなり，効果的な支援につながる。

1. 子ども虐待の定義

2000年に制定された「児童虐待の防止等に関する法律」(児童虐待防止法)により，子ども虐待は「保護者(同居人を含む)」がその「監護する児童」に対して行うものと定義され，「身体的虐待」「性的虐待」「精神的虐待」「ネグレクト」の4つに分類された(表1)¹⁾²⁾。また，2004年には，保護者以外の同居人による児童虐待と同様の行為の放置，児童の目の前でのドメスティック・バイオレンス(DV)など，児童への被害が間接的なものについても児童虐待に含まれることになった。

表1 子ども虐待の定義と内容

身体的虐待	身体的虐待	殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、縄などにより一室に拘束する など
	医療虐待 (代理ミュンヒハウゼン症候群を含む)	保護者が自分の子どもについて症状を誇張する、虚偽の病歴を訴える、身体症状を捏造する、不適切で有害になりえる医療的ケアを受けさせる状態 など
性的虐待		子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触るまたは触らせる、ポルノグラフィの被写体にする など
精神的(心理的)虐待		言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(ドメスティック・バイオレンス:DV)、きょうだいに虐待行為を行う など
ネグレクト	栄養・衣服・衛生 ネグレクト	適切な食事を与えない、気候・天候に適した衣服を着せない、入浴させない、オムツを替えない、極端に不潔な環境の中で生活をさせる など
	情緒ネグレクト	子どもにとって必要な情緒的欲求に答えていない場合では、精神的危険性が高いのみならず、栄養が与えられていても低身長や体重増加不良などの成長障害がみられる場合もある
	監督ネグレクト	熱傷や誤嚥が発生しやすい状態を放置、乳幼児を家に残したままたびたび外出する、乳幼児を車の中に放置する など
	医療ネグレクト	必要な乳児健診、予防接種や医療を受けさせない など
	教育ネグレクト	保育園、幼稚園、学校に行かせない、家に閉じ込める など

(文献1, 2より作成)

ここで強調されるべき点は、分類化が「目的」ではないということである。事実として、子ども虐待の背景は非常に複雑であり、すべてのケースで明確に分類できるわけではない。

2. 日本の子ども虐待の現状

凄惨なニュースが連日報道されているが、これは氷山の一角であり、2021年度の調査では74名の虐待死が報告された。虐待死数が横ばいの状況が続く一方で、解決の糸口を見出せていないというのがわが国の現状である(図1)³⁾。さらに、この虐待死事例において注目すべき点は、半数以上で関係機関(児童相談所、市町村)の関与がなかったことである³⁾。つまり、関係機関で虐待と把握できないまま死に至っていることになる。対照